



2026年 初夏号



エイサーを踊る子供たち

## 目次

### 公園の風景

- 春まつりは大盛況♪♪ . . . . . 1
- ヨシ焼きしないヨシ原は？ . . . . . 1

### ぐるっと山口湾 ㊤ . . . . . 2

### みんなのひろば

- 葦の会入会のきっかけ . . . . . 2

### 活動紹介

- レンジャークラブ  
中高生クラスって…？ . . . . . 3
- 公園でボランティアしませんか？ . . . . . 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail [ashinokai.kirara@gmail.com](mailto:ashinokai.kirara@gmail.com)

HP [ashinokai.html.xdomain.jp](http://ashinokai.html.xdomain.jp)

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

**会員募集中！（高校生以上）**



# 公園の風景

= 春まつりは大盛況♪♪ =

4月29日（祝）、春まつりが開催されました。今回は沖縄をテーマに、沖縄ぜんざい、沖縄クレープ「ちんびん」、さんぴん茶などを販売しました。タコス&タコライスキッチンカーも来ていずれも早々に売り切れてしまいました。エイサーも皆で踊って楽しみました。今回初登場の木製ピストル輪ゴム6連チャン射的、クズの蔓で作ったテッポウ魚の模型(葦の会のSさんの力作)の中に入って水鉄砲で的を狙うゲームは男の子達の行列が出来ていましたよ! 茶宗天地さんからはお店のマスコット、ヤギのチョコちゃんも来てくれて皆を癒してくれました。天気にも恵まれ、この10年で最多の1000人近い来園者があり、「干潟で遊ぼう」やバードウォッチング、輪投げ、工作、ハチミツ絞りなどなど、どのブースも大忙し。皆クタクタになりながら充実感を味わった1日になりました。



= ヨシ焼きしないヨシ原は・・・? =

自然観察公園では毎年3月にヨシ焼を行っていますが、昨今頻発している山火事への懸念などもあり中止となりました。

ヨシ原をねぐらにする小動物や鳥たちの寝場所を確保するため、公園では例年、ヨシ原を東側と西側とに分け交互に焼いています。ヨシ焼きをしなかったヨシ原の様子を知るために、4月中旬、ヨシ原を一周してみました。2mを優に超す枯ヨシの茎もとに50~60cmに成長した緑のヨシが東西関係なく同様に成長していました。ハテ?サテ?ヨシ焼きの意義はいかに、とレンジャーさんに聞きました。野焼きと同様、害虫や雑草の繁殖を防ぐためのヨシ焼きですが、ヨシ焼きが実施されなければ枯れヨシが地表に堆積し陸地化の原因となってしまいます。ヨシ焼きが行われることで根が焼かれた場所に新たな芽が出て現状が維持されるということでした。ヨシは維持管理が必要な植物のようですが、ヨシ原は生き物にとっては餌場であり安心なねぐらなのです。

# ぐるっと山口湾⑧

山口湾を

ラムサール登録へ!



橋脚のすき間でムクドリの子育てが始まっています



年2回、場所を変えて海岸清掃を行っています



水面に浮かぶカワウの群れ

初夏の山口湾を回ってみました♪



クロツラヘラサギが休む波多瀬



秋穂側から眺める日の山とキララドーム



岩屋の鼻近くでサップをする人発見!



秋穂の広大な大麦畑とキャベツ畑

## みんなのひろば😊

### 葦の会入会のきっかけ

「レンジャークラブ中高生クラス」について次ページに書きましたが、ここではなぜ私が葦の会に入っているかを簡単に紹介していきます。

私は現在高校生なのですが、葦の会に昔から思うことがあります!それは…

**メンバーの高齢化が著しい!!** ということです。私が葦の会に入った理由です。

そして、10年後も公園と葦の会の共存状態が続くためにも自分が入るしかない!と思いました。本当の理由はほかにも、自分のレンジャークラブの後輩?に当たる人たちにも入ってほしい(仲間を増やしたい)と思い、自分から率先して入りました。

しかし、現状あまり葦の会に入っていないのも現実です。そのため、この記事を読んでいる皆さんにお願いします。6月に公園であるボランティア説明会に来てほしい!そして、3か月後仲間が増えていることを期待しています…

(R.M)

# 活動紹介

## レンジャークラブ中高生クラスって どんなグループ？

この一年間レンジャークラブが行ってきた活動を季節ごとに解説していきます。まず、レンジャークラブとは環境問題や生物(鳥、昆虫…)、ボランティアに興味がある中高生の団体で、公園の行事の一環として行っており山口市や防府市、遠いところでは周南市から毎月一回公園に集まって活動しています。その中には葦の会に入会している人もいて、今回はその本人が書いています。

ゴールは「山口湾をラムサール条約登録湿地に」という葦目標に向けて活動しています！活動として昨年は山口湾各所での海岸清掃、公園イベントの補助&ブース出展、自分たちで企画した干潟の生き物観察会といった活動を行いました。去年は環境省主催の全国ユース環境発表大会にも出場しました。これは、よしきり2026年早春号に記事があります！また発表の様子動画もQRコードにて載せています！この中に私たちの去年の活動のすべてが載っていますので是非見てみて下さい！！

より多くの人にこのグループを知ってもらうためにもお願いします。



また、今年も日本青年会議所の大会にも出場予定です。この大会の内容は次号以降に掲載していく予定ですので楽しみに！

右、よしきり2026年早春号  
左、大会での発表動画



<俳句教室 最多選句>

### = 公園でボランティアしませんか？ =

4/12(日)に総会が終わり、葦の会第24期がスタートしました。

葦の会には4つのチームがあります。レンジャーのサポートをしながら一般参加者と一緒に野鳥観察をする一般対応チーム、主に紙芝居の上演や制作をするショートプログラムチーム、生き物たちの生育場所を造るなど園内の環境整備をする環境サポートチーム、年6回、機関紙「よしきり」を発行する機関誌チーム。

と言ってもきっちりと分かれているわけではなく、チームを掛け持ちしたり、人手が足りない時には手伝ったりしながら自由に活動しています。みんなで楽しみながら自然のことをいろいろ学べるのが魅力です。公園のボランティアって何をするのかよくわからないとか、何か特別の知識が必要なのでは？と躊躇されている方、前ページの「みんなのひろば」で高校生会員のMさんも勧めてくれているボランティア説明会を一度のぞいてみませんか？ 6月6日(土)です。年齢の上限はありません！(^\_^)



3月	4月
----	----

#### <編集後記>

芽吹き過ぎ、新緑の木々照り映える初夏を迎えた公園です。アサギマダラの飛来に思いを馳せフジバカマ周辺の草取りに励み、ヨシ原を飛び交うセッカやオオヨシキリの囀りを確認し、飛び始めたツバメを愛でる機関紙スタッフです。恵まれたこの貴重な時期を楽しみましょう。

(Tasha)